

目標達成計画

事業所名 グループホーム奥阿賀大輪の里

作成日: 令和4年11月20日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	-3	利用者の状況や感染対策などを鑑み、利用者の会議の参加を見合わせている。生活の中心である利用者の意見が運営推進会議で生かされる方法を模索し、利用者の参加が運営につながることを期待したいとの助言を頂く。	今までは要介護度が重く、自分の意見を言える利用者はいなかった為、会議には参加していただけなかった。今年春に入所した利用者様がお話上手でどなたにでも気軽に話しかけて施設内のことも話が出来るので適任と思いい依頼したいと社長や職員とも話し合いをした。	9月に実施も現在はコロナが増えている為に、委員長、社長、包括支援センターに相談し、推進会議資料を委員の皆様へ送付している。利用者様のご家族に運営推進会議に出席の了解を得て、本人様にも話をして了解を頂いたのので、次回の会議には参加していただくことになった。	ヶ月
2	-12	重度化した場合の対応については契約書に示し説明されているが、重度化の指針にまとめることでは利用者の家族にも方針が共有しやすくなるのではないかと。重度化の際の対応や流れだけではなく、事業所が利用者の人生をどのように支える方針であるかが示されることで、より一層共通した理解の元での支援がなされると思われるとの助言をいただく。	今までは重度化した場合、病院の指示を仰ぎ救急搬送し家族の立会いの下、病状説明を受け入院等になればご家族に任せていました。家族が必ず立ち会うので医師、家族、施設職員と話し合った内容を文章化し保存したいと考えています。	この度重度化した利用者が、病院の指示を仰ぎ救急搬送しました。必ず家族が立ち会い、主治医の話があるので、今後施設ではどのような支援を行えばよいか話し合いを行い、担当者会議の議事録として保管し家族にも渡しました。家族が安心できるよう支援につなげていきたいと思っています。	6ヶ月
3	-13	グループホームであるため家庭同様に食料などが常備されているが、災害時の備蓄としての準備ではない。基本的な水や食料などから準備するなど、排泄グッズ等も含め、災害時に安心できる備えを順次進めていくことを期待したいとの助言をいただく。	今現在の備蓄は、水、食料品は3日分には不足している。排泄グッズは十分に常備している。毛布、灯油ストーブ、ヘルメットなど準備しているが停電などの場合、ストーブ一台では暖房が確保できない状態なので徐々に増やしていきたい。	利用者様を守るために、不足分は社長に話、何がどれくらい必要か職員とも話し合い、これから備蓄品を増やしていく予定です。	6ヶ月
4					ヶ月